



2023.10.17(火)
No. 69
文責
松永

ふれあいパーク「逃走中」開催！朝から大盛り上がりでした①

先月22日(金)の朝から、子どもたちの企画によるふれあいパーク「逃走中」を行いました。朝から雨が降り、予定通りにできるのかを心配していましたが、実行委員ががんばって準備したこの全校遊びを楽しみにしていた大江小の子どもたちにお天気も味方してくれたようです。これまで異学年交流を目的としたふれあいパークは、上学年の学級が開いたお店を回って、いろいろなゲームを楽しむ形で行って来ました。今回は、異学年でなかよくなるというももとの目的からもう一度考え、代表委員会で話し合いました。学級からの意見をもとに話し合いを重ねた結果、「逃走中」をすることになりました。はじめて行う活動ですから、計画も準備も一からのスタートです。4年生以上の各学級代表が実行委員となり、そこを中心にして意見交換しながらルールを決めたり、学校全体に周知したりして準備を進めてきました。事前の児童集会ではオンラインを活用して、ルールの説明や注意事項などを伝えることも行ってきました。



前日の先生たちによるテント立てと当日朝からの実行委員による場づくりで、着々と準備が進みました。途中に降り出した雨が気がかりで、担当の石見先生と雨雲レーダーを見ながら雨が上がることを願っていました。前日にも「校長先生、逃走中のテレビを見たことありますか？明日がとても楽しみです。」という1年生、登校中に「雨が降ったら今日はできませんか？」「逃走中、早くやりたいです。」と話しかけてくる子どもたちの様子を見ても、どれだけ楽しみにしているかが伝わってきました。そうした思いの強さで少しずつ天気は回復傾向に…。時間になり、運動場からオンラインによる開会式が始まりました。ルールや時間配分などの説明が終わったところで、いよいよ1回戦の始まりです。ハンター役の6年生は運動場の西側に張られたテントの中に控えています。逃げる側の子どもたちは、スタートの合図を聞いて集合した運動場の真ん中から、事前に知らされていたミッションの場所に走って行きました。そこでは、じゃんけん、動物のマネ、大縄跳び、写真といったコーナーが準備されていて、そこでクリアできたら、カードをもらうことができます。それが、この後に役立つという仕組みです。

